

# CNA レポート・ジャパン

Conferencing News & Analysis, Report on Japan market - CNAReportJapan

創刊：1999年12月  
発行日：毎月15日・月末  
PDFによる発行

オンライン会議（ビデオ/Web/音声）システム市場専門トレンドワッチ

Vol. 25 No.3 2023年2月15日

## 製品・サービス動向-国内

### ■VTV ジャパン：会議室のオンライン会議設備の撤去やIT機器のキitting・設置を代行するアウトソーシングサービスの提供を開始

(PRWIRE：2月3日)

VTV ジャパン株式会社 (<https://www.vtv.co.jp/>) (東京都千代田区) は、オンライン会議システムを長年販売提供してきた経験を活かし、会議室設備の撤去やシステム入替時のキitting・設置を代行する、アウトソーシングサービスの提供を開始する。

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 拡大以降、ビジネスでの利用が標準化されたオンライン会議に対応すべく、オフィスの会議室改修を急ぐ企業が増えている。その中で、以前利用していたテレビ会議システムや大型ディスプレイなどの設備の撤去は自社では対応しきれないことが多く、しかし、どこに依頼すればいいのか分からず、全国に数多くの拠点を持つ担当者には頭の痛い問題だった。

VTV ジャパンでは、長年オンライン会議用設備の導入やリプレースを担当してきた経験を活かし、新規設備の導入から旧設備の撤去までの各業務を、一部分からトータルマネジメントまで、お客様の要望に合わせて代行する。



#### 依頼から対応までの流れ (一例) (VTV ジャパン)

アウトソーシングサービスの利用例としては、以下の通り。(1) オフィス移転などにとまなう IT 設備の

移送手配。(2) 不要になった旧設備の撤去作業の手配。

(3) 新規設備の仕入れ・検品、着荷時不良製品の購入元への連絡代行。(4) 新規設備の在庫管理・キitting・梱包の実施、納品・設置日の調整、WBS の作成。

(5) 配送設置作業員手配と作業実施、完了報告書の作成。(6) 設置した設備の保守サポート、マニュアル作成。

VTV ジャパンは、1995 年の設立以来、「コミュニケーションをデザインする」を事業コンセプトに、お客様のビジュアルコミュニケーション環境の構築を支援してきた。同社では、ハイブリットワークで高まるリモートとオフィス間のコミュニケーション環境をより充実したものにするため、オンライン会議システムの導入や会議室の AV 設備デザインなどを含めたソリューション提案を実施している。

### ■レノボ・ジャパン：Windows ベースのオールインワン・コラボレーションバー「ThinkSmart One + Controller」2 製品を発表

(PRTIMES：2月7日)

レノボ・ジャパン 合同会社 (<https://www.lenovo.com/jp/ja>) (東京都千代田区) は、「ThinkSmart One シリーズ」を発表。会議室向けコラボレーションバー「ThinkSmart One + Controller for Microsoft Teams Rooms」「ThinkSmart One + Controller for Zoom Rooms」をリリースした。

ThinkSmart One + Controller for Microsoft Teams Rooms は、Microsoft Teams Rooms をプリインストール

ルしたオールインワン式の小規模会議室向けコラボレーション端末。また、ThinkSmart One + Controller for Zoom Rooms は同様に Zoom Rooms をプリインストールした端末になる。

会議室からのオンライン会議への参加に必要なカメラ、マイク、スピーカー、そして頭脳となるコンピュータが全て一体化したバー形状のオールインワン設計となっている。OS にはバー型として世界初（※レノボ調べ）となる「Windows IoT Enterprise」ベースの製品となる。



ThinkSmart One + Controller



本体背面に集約されたポートを経由した豊富な拡張性



ビルトインのセキュリティドアにより、予期せぬポートへの不正なアクセスを未然に防ぐ

### ThinkSmart One シリーズ（レノボ・ジャパン）

内蔵した広角高解像度のカメラには AI を搭載し、自動で参加者のフレーミングや話者のトラッキングが可能となっている。また、マイクは壁面から最大約 6m の範囲で收音可能で、会議室のどこから発言してもクリアな音声を届けることができる。

セキュリティの配慮もされている。物理的にレンズを隠すカメラシャッターや本体背面のポートへの無断アクセスを防ぐセキュリティドアを備えている。また、「ThinkSmart Manager」により、クラウドを介した遠隔でのモニタリングや設定変更といった一括管理が可能になっている。

その他、標準でマウント用パーツを同梱することで、

本体を壁面や会議室内に設置されたモニターに設置が可能となっている。操作は 10m のケーブルで接続する 10.1 型タッチコントローラーにより机上から直感的に行える。

Microsoft Teams Rooms プリインストールモデル（販売価格：493,900 円、税込）は 2 月 7 日より出荷開始、Zoom Rooms プリインストールモデル（販売価格：493,900 円、税込）は、3 月中旬以降に出荷開始予定となっている。

## ■Zoom 社：シングルセッションのイベントに必要な柔軟性と拡張機能を提供する新しいイベント管理ソリューション「Zoom Sessions」を発表

（PRTIMES：1 月 30 日）

Zoom Video Communications 社 (<https://zoom.us/>)（米国・カリフォルニア州、以下 Zoom 社）は、新しいイベント管理ソリューションとして「Zoom Sessions」を発表した。

Zoom 社は、オールインワンのイベント管理プラットフォームでクラス最高のハイブリット/バーチャルイベントを主催できるオールインワンのイベント管理プラットフォーム「Zoom Events」を提供している。

Zoom Events は、マルチセッションのイベントや複数日にわたるイベントに最適。しかし、昨今ハイブリット型、対面型、VR 体験が定着している中、イベントによって必要とされる機能は異なるため、汎用的なイベント管理ソリューションでは必要な機能を使えないばかりか、不要な機能にまでコストをかけることになってしまうという。

そういったことから、この度 Zoom Sessions を発表した。Zoom Sessions は Zoom Events ソリューションの最新プロダクトであり、シングルセッションのイベントに必要な柔軟性と拡張機能を提供するところに特徴がある。

さまざまな機能と段階的な料金設定を採用しており、シングルセッションのウェビナー/ミーティングのROIが向上する。ホスト2~5人、共同編集者1~3人（※Zoom Events：ホスト5人、共同編集者3人）で、イベントスケジュールに応じて年間契約の価格モデルの中で利用するか、もしくは出席者数ベースでの支払いを選択できるようになっている（最大でハブオーナー100人、ハブ1,000。Zoom Eventsも同じ）。

Zoom Sessionsの主な機能としては、強力な分析/チケット発行機能、マーケティングオートメーションツールとの連携、インタラクティブな機能、高度な制作ツールとカスタマイズ可能なブランディングなどがある。イベントの成功度の追跡と評価、新たなリードの獲得、出席者の心を掴む、ブランドの認知度の向上などに資するとしている。

一方で、Zoom社は、ホスト1人で年間契約の価格モデルで利用可能な「Zoom Webinars」も提供している。拡張性に優れ設定も簡単。高品質の安全なビデオメッセージを簡単に配信して会社の結束力を高めることが可能になるという。

今回の発表によって、Zoom社として、複数日にわたるカンファレンス、1対多数の配信、シングルセッションの需要喚起イベントなどあらゆるイベントの対応が可能になった。製品デモや座談会、ネットワーキングイベント、ラウンドテーブルを記憶に残るものにするという。

## ビジネス動向-海外

### ■Qualcomm社：ビデオ会議製品を迅速に開発可能にする、「Qualcomm QCS8250 リファレンスデザイン」を発表

(2月3日)

Qualcomm社(<https://www.qualcomm.com/home>) (米国・カリフォルニア州)は、ビデオ会議製品を迅速に開発可能にする、「Qualcomm QCS8250 リファレンスデザイン」を発表した。

Qualcomm QCS8250 リファレンスデザインは、「Microsoft Teams」向けに事前認定およびテスト済みであり、OEM企業が最新のAIオーディオおよびビデオ機能を備えた新しいビデオ会議製品を迅速に開発、カスタマイズ、あるいは製品ローンチすることを可能にするプラットフォーム。発表時点ですでにリファレンスデザインは入手可能となっている。

このリファレンスデザインは、ハイブリットワーク環境におけるオンライン会議とコラボレーションを強化するように設計されており、ユニファイドコミュニケーションアプリケーションをネイティブに実行したり、PCがホストする会議のデバイスモードで動作させたりできる。

また、「Qualcomm AI Suite for Video Collaboration/Video Conferencing」によりカスタマイズ可能なオンデバイスAI機能を提供する。中規模から大規模の会議室を対象としており、AIにより、気を散らすものを排除し、生産性を高め、オンライン会議の参加者が完全に没頭できるようにする機能を提供している。

主な機能としては以下の通り。

(1) AI グループフレーミング：会議室にいる人を自動的に検出し、3つのUltra HDカメラ(超広角・広角・望遠)を使用してスムーズにズームイン/ズームアウトして、全ての会議参加者の最適なビューを提供する。

(2) AI スピーカーフレーミング：音声キャプチャーとビデオ AI 技術を組み合わせ、3 代の 4K UltraHD カメラを事実上シームレスに切り替えることで、話している人物を特定し、その人物にズームインして、プレゼンターのクローズアップでより詳細なビューを提供できるようになっている。

(3) AI ノイズ抑制：最先端のニューラルネットワークベースのノイズ抑制技術が話者の声を分離し、複数のマイクを必要とせずに、たとえば、食品包装紙の開封、紙のカサカサ音、ペンのクリック音、キーボードタイピングなど気を散らすバックグラウンドノイズを除去する。

なお、Qualcomm QCS8250 AI フレームワークは、サードパーティの独立系ソフトウェアベンダーが他の AI 機能のサポートを簡単に有効にできるように、モジュラー方式で設計されている。

Qualcomm 社によると、リファレンスデザインにより、より没入型で事実上シームレスなビデオ会議体験が可能になり、対面またはリモートに関係なく、全ての同僚がはっきりと見え、聞こえるようになる。

## セミナー・展示会情報

### <国内>

#### ■日本マイクロソフト共同

##### Teams Rooms デモンストレーションセミナー

日時：2月16日（木）16:00～17:00

会場：オンライン

主催：VTV ジャパン株式会社/日本マイクロソフト株式会社

詳細・申込：<https://www.vtv.co.jp/seminar/2302vtv/>

#### ■音と映像にこだわるモダン会議室のススメ Microsoft Base Nagano ショールーム化記念ウェビナー

日時：2月24日（金）13:30～15:00

会場：オンライン

主催：株式会社 TOSYS

共催：株式会社ヤマハミュージックジャパン/レノボ・ジャパン合同会社

詳細・申込：<https://live-style.jp/info-msbwebinar-230224/>

#### ■ウェビナー「リアルも遠隔会議も“かんたん”に『文字起こし&議事録作成』～会議室での実演を交えてお届け～開催のお知らせ

日時：3年3日（金）14:00～15:00

会場：オンライン

主催：リコージャパン株式会社/ヤマハ株式会社

詳細・申込：[https://sound-solution.yamaha.com/lp/webinar\\_202303](https://sound-solution.yamaha.com/lp/webinar_202303)

#### ■ブイキューブセミナー情報（2月～3月）

「最先端 3D 合成 スタジオ体験ツアー」「1on1 が「はかどる」オフィスの見学会」「ファンはどうすれば「沼落ち」する？」「誰でも分かる！メタバース入門講座」

「WebRTC か。WebRTC 以外か。」など

会場：オンライン/オンデマンド、東京

主催：株式会社ブイキューブ

詳細・申込：<https://jp.vcube.com/event/all>

#### ■Webex Meetings 関連ウェビナー（2月～3月）

「Webex Webinars が適切な会議実践例」「Webex アップデートのご活用方法（最新チャンネルご利用者様向け）」「開発なしで導入できる遠隔行政窓口サービスとは」など（録画も視聴できます）

会場：オンライン/オンデマンド

主催：シスコシステムズ合同会社

詳細・申込：[https://www.cisco.com/c/m/ja\\_jp/training-events/events-webinars/collaboration-webinars.html](https://www.cisco.com/c/m/ja_jp/training-events/events-webinars/collaboration-webinars.html)

**<海外>****■Enterprise CONNECT**

日時：3月27日～3月30日

会場：Gaylord Palms（米国・フロリダ州オーランド）

主催：Informa Tech

詳細・内容：<https://enterpriseconnect.com/>

国内その他：<https://cnar.jp/cna/event-j.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

**業界の動き**

遠隔会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月2回（プレスリリースと取材に基づく記事のみ）ですが、CNA レポート・ジャパンでは、それ以外の業界の動きに関連した国内外の情報を日々皆さんと共有しています。皆様の情報収集のひとつとしてご活用いただければ有難いです。

**■フェイスブック（遠隔会議&UC トレンドワッチ）**

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

**■Twitter（遠隔会議&UC トレンドワッチ）**

<https://twitter.com/cnarjapan>

**■メーリングリスト（dte-forum）**

<https://cnar.jp/cna/dteforum-ml.html>

**定期レポートバックナンバー**

定期レポートのバックナンバー（1999年～最新号）は下記 URL で閲覧できます。

<https://cnar.jp/cna/cnareportarchive.htm>

**CNAレポート・ジャパン 2023年2月15日号おわり**

ホームページ：<https://cnar.jp> お問い合わせ：[cnar@cnar.jp](mailto:cnar@cnar.jp)